

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	12009	事務事業名	広報事業費			
担当部・課名	政策推進部 広報戦略課	評価者(課長)	行富 広康	評価責任者(部長)	増本 俊彦	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	900102	分野	9行政経営	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	1市政に参画できる仕組みの充実			補助・単独の別	単独
	推進施策	(2)広聴活動の拡充			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	周南市民	事業の目的(意図)	行事や手続きなどの市民生活に必要な情報を届ける。また、市の施策について市民理解を深め、市民協働のまちづくりを推進する。(ホームページアクセス件数H27目標2,500件/日)
事業の内容(手段)	広報紙やケーブルテレビ、ホームページ、ソーシャルネットワークサービスなどを活用し、積極的に市政情報を発信する。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	市ホームページへのアクセス件数	達成項目/目標項目	%	目標値	2,000.0	2,500.0	2,500.0
			実績値	2,422.0	2,414.0		
			達成度(%)	121.1%	96.6%		

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	53,063	55,285	54,071	65,522
うち一財		千円	48,916	51,138	49,471	61,206	48,526
(決算額)	直接事業費	千円	51,967	53,591		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	47,625	48,919		ホームページ改修委託料(12,680千円)の計上による。	
	正職員人件費	千円	22,815	22,215			
	人工数	人	3.00	3.00	2.35		
	支出コスト	千円	決) 74,782	決) 75,806			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	広報紙の編集発行事業は、平成21年度から部分的な取材・編集とデザイン・印刷・仕分け業務を民間に委託しており、平成27年度に3回目の契約更新を行った。また平成27年度には、ホームページ音声読み上げサービスを導入。平成25年7月にはSNS(Facebook, Twitter)を開設している。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 近年、SNSをはじめ情報発信手段が多様化しており、市民に必要な情報を周知するには、受け手に応じて有効な情報発信ツールを選択、活用し有効に伝えていく必要がある。
	評価	B A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	平成28年度中にホームページのトップ画面の更新を行い、市民に見ていただける構築をしていきたい。	評価責任者コメント	広報紙については、これまでも市民目線に立った編集に努めているが、デザインや構成等、さらなる工夫を重ね、読みやすい広報紙を目指していくとともに、ホームページやSNSをさらに充実させ、これまで以上に市内外に向けた情報発信に取り組んでいく必要がある。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
10月に現行ホームページの全面リニューアルを行い、アクセシビリティの向上、スマートフォンやタブレット端末等の各種メディアへの対応を行うなど、より分かりやすい市政情報の発信を行う。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	市広報編集発行事業	広報紙を発行し、手続きや行事などの周知を図る。インターネット連動の新機能で広報紙の機能アップを図る。	年間24回広報紙を発行。取材指示、各所管からの原稿取りまとめ、校正。自治会等配布先名簿の管理。インターネットに連動した拡張機能の搭載。	42,580	可	1.40	0.00
②	市広報契約更改事業	より効率的な広報紙の発行を行うためプロポーザル方式にて業者選定し、業務委託契約を締結する。	契約更改に関する業務。仕様見直し、公募、審査、契約締結、円滑な移行のための調整。	0	否	0.35	0.00
③	ホームページ管理運営事業	市の事業内容を掲載し、各事業をわかりやすく説明。アクセシビリティに配慮する。	各課の更新内容の承認。トップページの改善。アクセシビリティ基準達成のチェック作業。読み上げ機能の装備。	4,541	可	0.60	0.00
④	市政情報番組制作放映事業	市民に関心を持っていただきたいことについて、映像で理解しやすく説明・紹介する。	年間12本の市政情報番組を制作し、ケーブルテレビで放映。トピックス36本の選定と、本編12本の所管課との調整。	6,357	可	0.25	0.00
⑤	市政情報提供事業	報道機関への情報提供し、様々な事業の周知を行う。	各課・外部からの報道機関向け資料の受付。必要に応じFAXにて情報送信。	53	否	0.10	0.00
⑥	SNS活用研究事業	各種のSNSについて、有効に活用していく。	昨年度開始したフェイスブックページやツイッターの更新を充実させる。	60	否	0.30	0.00

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	12022	事務事業名	頑張るふるさと応援事業費			
担当部・課名	政策推進部 広報戦略課	評価者(課長)	行富 広康	評価責任者(部長)	増本 俊彦	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	900301	分野	9行政経営	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	3持続可能な財政運営			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)積極的な財源の確保			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	周南市民を含む国内の住民、団体	事業の目的(意図)	○自主財源の確保 ○本市の知名度をアップさせるとともに、様々な分野での人材発掘につながる。
事業の内容(手段)	○ふるさと納税制度を活用し、自主財源の確保と市のPRを行う。 ○各界で活躍する本市ゆかりの方を「周南ふるさと大志」に任命し、市の知名度アップに協力を得るとともに、助言等をまちづくりに活かす。 ○市外在住者を対象に、ふるさとサポーター「周南志民」を募集し、市のPRを行う。 ○本市出身者が集う団体に対し市政報告やPR等を行い、市政に関心を持ってもらい、協力を得る。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
					目標値	実績値	達成度(%)
頑張るふるさと応援寄附金(ふるさと納税)受入件数(個人)	個人による「頑張るふるさと応援寄附金(ふるさと納税)」の件数		人	目標値	450.0	500.0	550.0
				実績値	469.0	527.0	
				達成度(%)	104.2%	105.4%	

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	2,051	3,581	2,800	26,893
うち一財		千円	2,051	3,581	2,800	26,893	26,893
(決算額)	直接事業費	千円	1,692	2,142		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円	1,692	2,142		ふるさと納税代行業務委託料(24,500千円)の計上による。	
	正職員人件費	千円	2,588	3,332			
	人工数	人	0.35	0.45	0.28		
	支出コスト	千円	決) 4,280	決) 5,474			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成20年度から「ふるさと周南応援寄附金」「ふるさと大志」、平成21年度から「周南志民」制度を創設。平成26年度から1万円以上の寄付者に対し、特産品のPRを兼ね、返礼の品を送付している。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 特に「ふるさと周南応援寄附金」については、国の制度改正も多く、事務が非常に煩雑である。また、返礼品に注目が集まり過ぎ、本来の趣旨と異なるところで寄附が行われているところがある。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	周南市の知名度向上に向け、パンフレットの刷新を行い、大都市圏を中心に訴求させていく。また、インターネットを活用したふるさと納税業務を請け負う業者との委託契約を行い、より広く周南市のPRおよびふるさと納税を周知させていく。	評価責任者コメント	全国的には、本来のふるさと納税の趣旨を逸脱した返礼品競争が問題となっているが、本市は趣旨にそった取組のなかで、広くPRに努めている。今後も、様々な方法により、周南市のPRを行い、趣旨に沿ったふるさと納税が増えるよう努力していく必要がある。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
平成29年度は返礼品及び寄附件数の増加、決済の簡素化を図るために運営事業者と契約し、職員の負担軽減及び財源の確保を行う。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	ふるさと周南応援寄附金	ふるさと納税制度を活用し、自主財源の確保に努める。また返礼品として周南ブランドを送り、積極的なシティブロモーションに繋げる	「ふるさと納税応援寄附金」のとりまとめ、シティブロモーションの実施	2,142		0.30	0.00
				可			
②	周南ふるさと大志	各界で活躍する本市ゆかりの大志の協力により、本市の知名度の向上を図るとともに、意見交換等を実施し、将来のまちづくりに繋げる。	情報提供等(随時)	0		0.15	0.00
				否			
③							
④							
⑤							